

嘉手納町立学校共同調理場
☎ 956-3|07

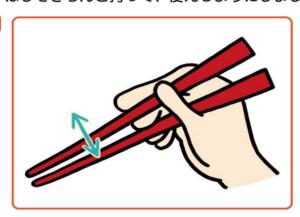
節労の翌日は立春です。暦の上では春になりますが、まだまだ葉さは厳しい時季です。インフルエンザやノロウイルスによる胃腸炎など、この時期に流行しやすい病気の予防には手洗い・うがいを忘れずに、たっぷり睡眠をとって栄養バランスのとれた後輩をとることが大切です。

# はしを正しく持とう

はしをきちんと持って、使えるようにしましょう

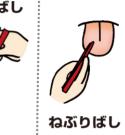
### **これではしの持ち なった。**

- ●長さは手のひらより少し長いものを選び、 事をなか。 真ん中より上の方を持つ。
- 上のはしを中指と人差し指でえんぴつのように持つ。
- ●下のはしは親指の根元と薬指の爪の横に のせる。
- 上のはしだけを動かし、下は動かさない。





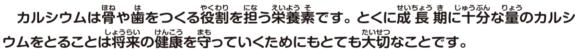
さしばし



よせばし



# TITSUNYM Call

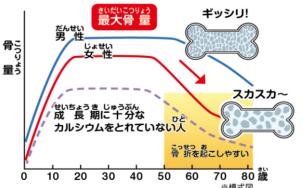


# 

カルシウムは骨や歯をつくるだけでなく、神経機能や血液の凝固にもかかわるなど生命を維持するうえでも大切な役割を 担います。カルシウムが不足すると、空に骨からカルシウムが溶け出して血液中の濃度を一定に維持するはたらきが人体にはあり、長期にわたると骨を弱くする原因になります。

## 成長期になぜとる必要があるの?

骨全体に含まれるカルシウムなどミネラルの量「骨量」は、20歳前後で最大になります。この時期までに丈夫な骨が作られていないと、とくに安性で老後に骨がもろくなる「骨粗しょう症」になるリスクが高くなります。





カルシウムの参い後沿は、牛乳・乳製品、小魚、海そうなど、家庭科で学習する2群(無機質・ミネラル)のグループが中心ですが、それだけに関りません。生傷げや豆腐、いりごま、小松菜などは、煮牛しやチーズでは少し気になる後端のことを気にせず、普段の食事で無理なくとれるのでオススメです。

#### 

